

目標値設定理由確認シート

大分類コード	3-1-1	大分類名称	生涯学習の推進
--------	-------	-------	---------

指標名	まちづくり出前講座 実施件数							
指標の説明	各年度のまちづくり出前講座 実施件数							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
119	86	107	120	153	153	161	199	
目標値	300	単位	件	備考	H12年10月1日からスタートH12年:66件, H13:104件			
目標値設定の根拠								
平成13年からの出前講座件数の増加数は、9年間で95件となっている。今後順調な伸びを想定し、約100件程度の増加を見込み、平成32年時は、300件を目標値とする。								

指標名	社会教育事業に対する参加者数							
指標の説明	各年度の社会教育事業に対する参加者数							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
594,200	525,844	531,491	580,429	546,574	637,301	641,535	709,666	
目標値	800,000	単位	人	備考				
目標値設定の根拠								
<p>ここ5年間で、常住人口に占める本指標数の割合は、平成18年の0.94を最低に、最高平成21年の約1.2(709,666人÷603,506人(H22.4.1常住人口)=1.1765...)を示している。</p> <p>一方、平成22年度10月1日現在における住民基本台帳人口をもとに行った推計結果は32年度に648,742人であった。ただし、今後国勢調査結果をもとに常住人口での推計に切り替える予定となっている。</p> <p>現時点では、常住人口は住基人口より6,481人少ないため、その差を単純に使用すると642,261人程度となることが予想される。</p> <p>上記の割合のうち、最高のものであった平成21年度の数値を当てはめると、642,261×1.2=770,713人だが、これに努力目標を加え800,000人とした。</p>								

指標名	市内図書館における一人当たりの貸出し冊数							
指標の説明	各年度の市内図書館における一人当たりの貸出し冊数							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
2.8	2.9	3.1	3.2	3.2	3.2	3.3	3.5	
目標値	5.9	単位	冊	備考	市民一人当たりの貸出し冊数=年間貸出し冊数/総人口			
目標値設定の根拠								
<p>過去3年間の実績の伸びを推移させると32年度では、4.5冊と予想される。</p> <p>しかし、現在策定を進めている「船橋市図書館サービス推進計画」を実施することにより、市民ニーズに対応する図書館サービスのさらに一層の充実が図られ、これに伴う利用者の図書貸出冊数等の利用増が想定されるため、目標値を平成21年度千葉県内市平均の一人当たり貸出し冊数である5.9冊とした。</p>								

目標値設定理由確認シート

大分類コード	3-1-2	大分類名称	生涯学習によるまちづくりの推進
---------------	-------	--------------	-----------------

指標名	生涯学習サポート事業 件数							
指標の説明	各年度の生涯学習サポート事業 件数							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
296	411	430	488	528	536	455	440	
目標値	572	単位	件	備考				
目標値設定の根拠								
<p>平成15年から平成19年は順調にその件数を伸ばしてきたが、平成20、21年度は、減少傾向にある。そこで、平成15年から21年度の週当たりの平均回数を試算すると、約9回を数えている。【(411+430+488+528+536+455+440)/7/52週≒9.03】この週当たりの実施件数を目標11件とする。11件×52週=572件。(参考:平成19年のピーク時:週当たり10.31件を数えている。)</p>								

指標名	ふなばし市民大学校まちづくり学部の修了者数							
指標の説明	ふなばし市民大学校まちづくり学部の修了者数(累積延べ人数)							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
—	—	150	284 (134)	419 (135)	511 (92)	606 (95)	674 (68)	
目標値	1,870	単位	人	備考	平成16年度からの累計			
目標値設定の根拠								
<p>平成16年度からの定員に対する修了者数の割合は、平均で74%を示しているところ、これを90%に目標設定する。なお、修了者の延べ人数にすると、120名×0.9×11年間=1,188名の増加を見込む。(674+1188=1862名≒1870名) 授業を通して学んだ知識・技術を元に、まちづくりのために積極的な地域活動に参加するコミュニティリーダーの育成を目指し、運営をしている「まちづくり学部」修了生が市内にどれだけ増えたかを表わすため、平成16年度からの累積延べ人数とする。</p>								

目標値設定理由確認シート

大分類コード	3-2-1	大分類名称	個性豊かな市民文化の創造
---------------	-------	--------------	--------------

指標名	芸術文化施設の利用人数							
指標の説明	各年度の芸術文化施設の利用人数							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
			340,185	326,169	331,422	341,396	324,614	
目標値	370,000	単位	人	備考	市民文化ホール・市民文化創造館・市民ギャラリー・茶華道センターの年間利用人数			
目標値設定の根拠								
<p>21年度実績は、324,614人だが、文化ホールが2ヶ月間工事のため休館していた。休館が無く、1年間稼働したと仮定すると、350,284人となる。 この数字をもとに、過去5年間の実績として、10,099人増。 今後10年間で20,198(10,099×2)人増を目標とする。 $350,284(21年度実績仮定値) + 20,198 = 370,492 \Rightarrow 370,000人$</p>								

指標名	博物館の入館者数							
指標の説明	各年度の博物館の入館者数							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
			32,853	31,122	36,344	35,690	36,521	
目標値	44,000	単位	人	備考	郷土資料館、飛ノ台史跡公園博物館の年間利用人数			
目標値設定の根拠								
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 素案では40,000人であったが上方修正 </div>								
<p>過去5年間の実績で、3,668人増。 今後10年間で7,336(3,668×2)人増を目標とする。 $36,521(21年度実績) + 7,336 = 43,857 \Rightarrow 44,000人$</p>								

目標値設定理由確認シート

大分類コード	3-2-2	大分類名称	いつでも、どこでも、楽しめる生涯スポーツ・レクリエーションの
--------	-------	-------	--------------------------------

指標名	総合型地域スポーツクラブ設立数								
指標の説明	市内24地区コミュニティ内で設立された総合型地域スポーツクラブ数								
現状値(各年度のこれまでの実績)									
	14	15	16	17	18	19	20	21	22
			1		1				
目標値	9	単位	クラブ	備考	平成10年度(1) 平成16年度(1) 平成18年度(1) 計3				
目標値設定の根拠									
<p>今後10年間を見据え、平成22年度に策定した「教育振興ビジョン」で、5年間で3クラブの総合型地域スポーツクラブの設立を目指す計画により、10年間でクラブ設立の目標値を6と設定した。</p> <p>*設立準備地区(①習志野台・松が丘・坪井3地区連合 ②薬円台地区 ③海神地区)</p>									

指標名	地区コミュニティで実施したスポーツ行事への参加者数								
指標の説明	各年度の地区コミュニティで実施したスポーツ行事への参加者数								
現状値(各年度のこれまでの実績)									
	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	—	—	42080	47497	44718	47593	46660	42393	
目標値	50,000	単位	人	備考					
目標値設定の根拠									
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 素案では57,000人であったが下方修正 </div>									
<p>過去5年間の参加者平均が約4.5万人である。</p> <p>ここ数年参加者が減少傾向にあるが、この平均値を維持するものとし、さらに努力目標5千人を加え、5万人とした。</p> <p>※なお、(素案)においては10年後の65歳以上が約3万人増のなか、その約半数を参加させたいことから、現状値(H21)の4.2万人に1.5万人を加え目標値を5.7万人としていたが、1.5万人の増は実現性や根拠が薄いため見直すものとした。</p>									

指標名	市民が運動できる広場の数								
指標の説明	市内市民が運動できる広場の総数(運動広場、まちかどスポーツ広場の合計)								
現状値(各年度のこれまでの実績)									
	14	15	16	17	18	19	20	21	22
		1 (まちかど)			1 (まちかど)				1 (まちかど)
目標値	25	単位	カ所	備考	運動広場(6) まちかどスポーツ広場(16) 合計22				
目標値設定の根拠									
<p>現在、市民がスポーツをする広場として、運動広場が6カ所、まちかどスポーツ広場が16カ所の計22カ所あるが、市民スポーツの普及に伴い活動場所の不足が生じている。用地の確保等、難しい状況にあるが努力目標値を3と設定した。</p> <p>*広場整備候補地(①大穴市民プール跡地 ②三山保育園跡地)</p>									

目標値設定理由確認シート

大分類コード	3-3-1	大分類名称	関係機関との連携による家庭と地域の教育力の向上
---------------	-------	--------------	-------------------------

指標名	家庭教育セミナー受講者数							
指標の説明	各年度の家庭教育セミナー受講者数							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
			5,538	4,998	4,454	5,102	3,683	
目標値	5,600	単位	人	備考				
目標値設定の根拠								
<p>家庭教育セミナーは、PTAと連携した学習機会となっているのが大半であるが、近年の忙しい保護者という傾向なども影響してか受講者数は減少傾向にある。そこで、過去5年間で1学級当たり平均163名の延べ参加者数となっていることから、この参加者数を30名増やすことを目標とする。$(163+30) \times 29$学級=5597名。</p>								

指標名	学校支援推進事業 実施数							
指標の説明	学校支援推進事業を実施している中学校区の数							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
							1	
目標値	27	単位	中学校区	備考	全27中学校区中			
目標値設定の根拠								
<p>船橋の教育(H22～26年度)で、5中学校区に設置を予定しています。そこで、平成32年度には全27中学校区を目標値とする。</p>								

目標値設定理由確認シート

大分類コード	3-3-2	大分類名称	豊かな知性と確かな学力、健やかな身体の育成
---------------	-------	--------------	-----------------------

指標名	特別支援学級設置校数 ・知的障害特別支援学級 ・自閉症・情緒障害特別支援学級							
指標の説明								
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
22 3	22 3	23 3	24 3	24 3	25 3	25 3	25 3	26 4
目標値	40 20	単位	校	備考	全小中学校81校中 上段知的 下段・自閉症等			
目標値設定の根拠								
<p>障害のある児童生徒は増加傾向にあり、対象児童生徒の通学の安全性・利便性等を考慮し、知的障害特別支援学級は、概ね2校に1校設置することとし40校とした。さらに、きめ細かな支援の充実を図るため、自閉症・情緒障害特別支援学級は、概ね4校に1校設置することとし20校とした。</p>								

指標名	学校の授業が分かると答えた児童生徒の割合							
指標の説明	学校の授業が分かると答えた児童生徒の割合 青少年センター実施のアンケート(小6・中2対象:隔年)							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
					67(中2)	86(小6)	70.9(中2)	86.9(小6)
目標値	100	単位	%	備考	割合＝学校の授業が分かると答えた児童生徒数 / 対象全児童数			
目標値設定の根拠								
<p>目標値100%は理想値であり、実現は困難だが、その実現に向け各種事業を実施していくことを目標と掲げ、あえて100%とした</p>								

指標名	小中学校の耐震化率							
指標の説明	小中学校の耐震化率							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
							39.7	
目標値	100	単位	%	備考	耐震化率＝耐震化済小中学校棟数/全小中学校棟数			
目標値設定の根拠								
<p>船橋市耐震改修促進計画において、平成27年度の目標値を90%としていることから、平成32年度の目標値を100%とした。</p>								

指標名	ボランティア(スクールガード)の人数							
指標の説明	各年度の学校に関わったボランティア(スクールガード)の人数							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
					3,813	4,353	4,609	4,966
目標値	5,500	単位	人	備考				
目標値設定の根拠								
過去5年間の登録人数の推移と今後の人口推移及びスクールガードのなり手を考慮し、目標値5,500人を設定した。								

指標名	保育園・幼稚園と小学校の交流事業に参加した園児の割合							
指標の説明	各年度の保育園・幼稚園と小学校の交流事業に参加した園児の割合							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
							44	
目標値	80	単位	%	備考	割合 = 参加した園児の数 / 対象園児の数			
目標値設定の根拠								
対象は幼稚園45・保育園64:全109園の園児全員								
園児が小学生と交流することで、円滑な接続につながることを目指して、より多くの園児と小学生の交流を目指したいと考え80%とした。								

目標値設定理由確認シート

大分類コード	3-3-3	大分類名称	次代を担う青少年健全育成の推進
--------	-------	-------	-----------------

指標名	青少年の環境を良くする市民の会活動の事業参加者数							
指標の説明	各年度の青少年の環境を良くする市民の会活動の事業参加者数							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
			470	479	478	535	468	
目標値	500	単位	人	備考	年9回の毎月1回で屋外の啓発活動のため悪天候や選挙期間等に係る場合は中止となることがあります			
目標値設定の根拠								
<p>これまでの実績値は過去5年間で増減を繰り返しており、平均では約480人であった。これに努力目標を加え、平成32年度の目標値を年間500人とした。</p>								

指標名	青少年キャンプ場の利用者数							
指標の説明	各年度の青少年キャンプ場の利用者数							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
			19424	20193	19066	17008	19212	
目標値	19,500	単位	人	備考	H20年度は、インフルエンザ等の影響による利用者減数。			
目標値設定の根拠								
<p>これまでの実績値は過去5年間で増減を繰り返しており、その平均では18,980人であった。これに努力目標を加え、平成32年度の目標値を19,500人とした。</p>								

指標名	青少年会館の利用者数							
指標の説明	各年度の青少年会館の利用者数							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
			68,265	68,097	52,892	57,872	56,814	
目標値	61,000	単位	人	備考	市街地から外れ、施設の周りは工場とマンションの混在する地域のため平日利用者の勧誘を行い、利用者増を望む。			
目標値設定の根拠								
<p>これまでの実績値は過去5年間で増減を繰り返しており、その平均では60,780人であった。これに努力目標を加え、平成32年度の目標値を61,000人とした。</p>								

目標値設定理由確認シート

大分類コード	3-4-1	大分類名称	多文化共生社会の実現
--------	-------	-------	------------

指標名	市民主体の交流事業参加者数							
-----	---------------	--	--	--	--	--	--	--

指標の説明	各年度の市民主体の交流事業参加者数							
-------	-------------------	--	--	--	--	--	--	--

現状値(各年度のこれまでの実績)

14	15	16	17	18	19	20	21	22
	781	597	180	200	295	738	800	

目標値	1,120	単位	人	備考	H17年度は市制70周年で市主体に各種交流事業を行ったため、市民主体の事業が少なかったと考えられる。			
-----	-------	----	---	----	--	--	--	--

目標値設定の根拠

H32年度には船橋市における外国人登録者数が現在の1.3倍になっているとの試算に基づき、努力目標分を加えてH21年度の数値の1.4倍を目標値とした。
 なお、敢えて単年度当たりの数が多いH21年度(2都市との周年事業有)を基準値としている。(周年事業の有無によってその年度の市民主体の事業数(参加者数)が左右され、H32年度は周年事業のない年度だが、努力目標として高目に設定した。)

指標名	自立支援事業を受けた外国人住民数							
-----	------------------	--	--	--	--	--	--	--

指標の説明	各年度の自立支援事業を受けた外国人住民数							
-------	----------------------	--	--	--	--	--	--	--

現状値(各年度のこれまでの実績)

14	15	16	17	18	19	20	21	22
		10909	12856	9956	9955	14483	18219	

目標値	23,500	単位	人	備考				
-----	--------	----	---	----	--	--	--	--

目標値設定の根拠

素案では25,370人であったが下方修正
 素案では登録人口の伸びをそのまま掛け合わせたか、実際には人口の伸びほど増加していないため見直し。

過去5年間のデータからの推計に努力目標数(10%)を加えた数。
 過去5年間の外国人登録人口に対するサービス提供件数の比率平均は約1.26÷1.3。
 平成32年度の推計登録人口は16,254人。
 これを掛け合わせるとH32年度予想値は、21,130人
 約10%の努力目標を加え、23,243÷23,500人とした。

指標名	姉妹友好都市等交流事業参加者数							
-----	-----------------	--	--	--	--	--	--	--

指標の説明	平成21年度からの姉妹友好都市等交流事業参加者数の累計							
-------	-----------------------------	--	--	--	--	--	--	--

現状値(各年度のこれまでの実績)

14	15	16	17	18	19	20	21	22
266	164	541	330	354	729	289	605	

目標値	4,100	単位	人	備考	平成21年度からの累計			
-----	-------	----	---	----	-------------	--	--	--

目標値設定の根拠

事業に参加し、影響を受けた人がどれだけ増えたかを表すため、累積のべ人数としている。
 目標値設定としては、当該事業は周年事業の影響もあり各年度の参加者数に起伏が激しいため、過去10年間の累計3,856人に努力目標(5%)を加え、端数を丸めて4,100人とした。(23年度～32年度末の人数が、12年～21年度の10年間より6%多くなることを目指す。)

目標値設定理由確認シート

大分類コード	3-4-2	大分類名称	平和施策の推進
---------------	-------	--------------	---------

指標名	平和都市宣言の市民への認知度
指標の説明	平和都市宣言の市民への認知度(平成23年度に意識調査実施)

現状値(各年度のこれまでの実績)

14	15	16	17	18	19	20	21	22
							?	
目標値	?	単位	%	備考	市が平和都市宣言を行っていることを知っているとした市民の割合			

目標値設定の根拠

平成23年度当初に、市民意識調査により現状値を把握し、それに基づき目標値を設定する。
 ただし、平成22年12月に市政モニターアンケートを実施し、仮の現状値を取得する予定。